

A photograph of cherry blossoms and a full moon against a dark night sky. The moon is a bright, glowing orb in the upper left corner. Several branches of cherry blossoms, with light pink and white flowers, are scattered across the frame. The background is a deep, dark blue or black.

心豊かな暮らし

縁_{en}

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

2013 Vol.26 spring

心豊かな暮らし contents



YUURAKU MODEL HOUSE

3 ■ 特集

暮らしを豊かに彩る

愛知県犬山市 I様邸

矢橋林業株式会社60周年記念商品

7 ■ 悠楽モデルハウスグランドオープン！

3つの悠を楽しむ

空間の悠／繋がりゆの悠／趣味の悠



11 ■ ちよつと知っていると便利なこと

おしえて！ やまさん

ダッチオーブンでつくる鳥モモ肉の燻製

13 ■ 史跡

赤坂お茶屋敷牡丹園

■ 連載

中山道赤坂つれづれの記 文／故清水春二
化石のメッカ(二)

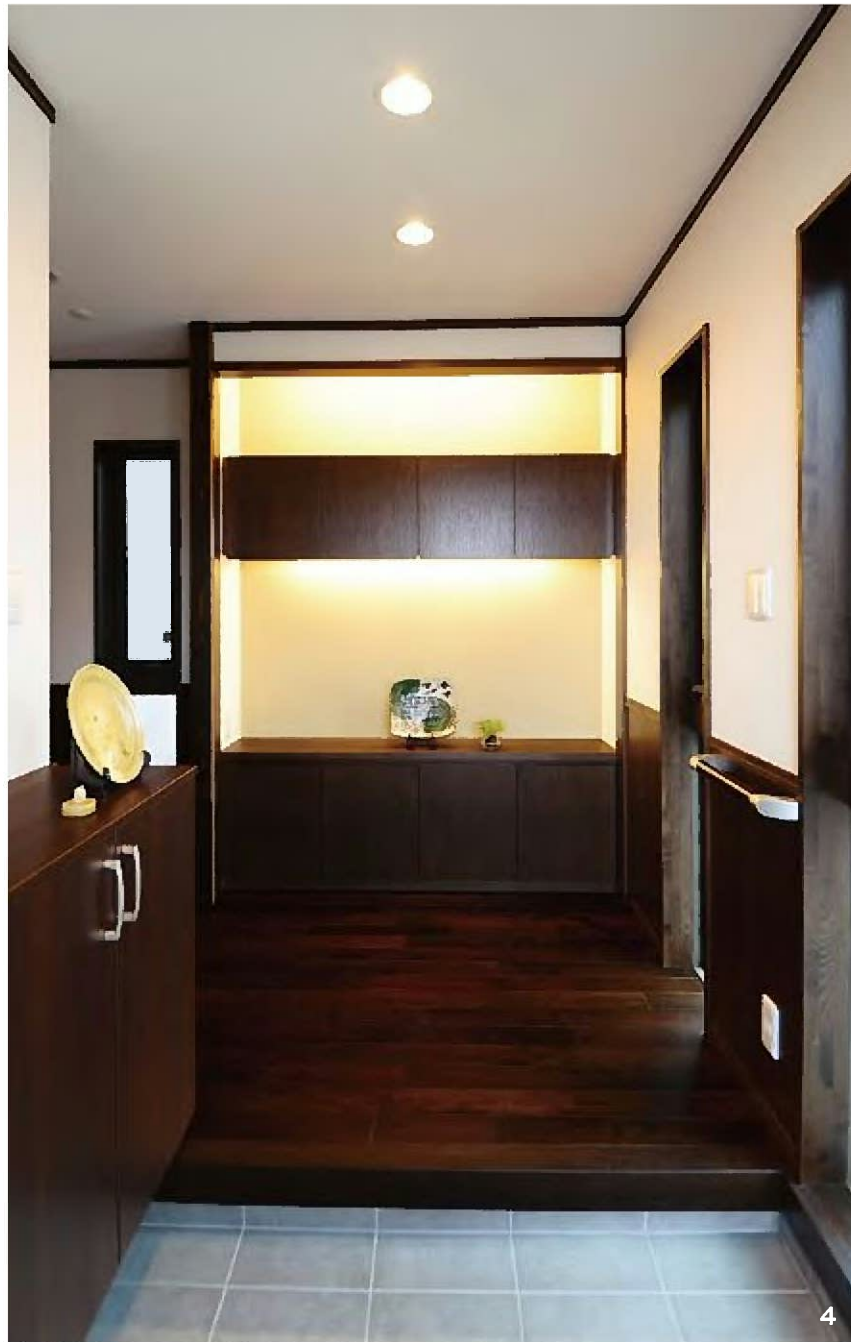


暮らしを豊かに彩る

愛知県犬山市 I様邸



和
NAGOMI



1. 畳コーナーから坪庭を眺める。夜になると坪庭を照らす灯りが、温かい雰囲気をつくる
2. 家族で出掛けた先で見つけたという黄瀬戸の器が飾られている
3. アプローチには、母屋へつながる入口がある
4. 陶器を飾れるカウンターがある玄関ホール。間接照明から温かみのある灯りが溢れる

家に帰るのが楽しみです

「和(なごみ)シリーズの家を見た時に、理想の家だと思いました。仕事が忙しいからこそ、心が和み、癒されるような家に暮らしたかった。」というI様は、手づくりで味わいのある陶器がお好きだとか。畳コーナーの違い棚には、お気に入りの織部の茶香炉や桜、雛人形が飾られていました。「春の桜のように四季を感じるものを飾ると、次の季節は何を飾ろうかと楽しみにします。気に入ったものに出逢うと、隣には何を置こうかと取り合えを考え、心が癒される空間をつくっています。」とご主人。「この雪見障子から坪庭を眺めて楽しい晩酌はいいですよ。一日の疲れが癒されます。」取材当日は雪が降っており、風情のある景色が広がっていました。

隣の母屋にお住まいの親世帯とは仲が良いそうで、「困った時に助けてもらえますし、食事を一緒にすることもありますよ。」という奥様は、お子様が母屋と離れ(和)を自由に引き来できるようにこだわられたとか。ご自身が心地よく過ごせる空間をつくり、穏やかに暮らすI様。家族との繋がりを大切にしながら、丁寧に暮らしている様子が伝わってきました。

心豊かな暮らし。

和
NAGOMI

Ver. 平屋建て



本物

うるおひの丘 8-92



四季の移ろいを感じ
心を癒す。

癒し

営業担当
木材事業本部 住宅部
佐久間 雅彦



1様と初めてお会いした時、Aちゃんはまだ2カ月の赤ちゃんでした。家づくりと一緒に進める内に、寝返りを打ち、はいはいが出来る様になり、完成時にはつかまり立ち。

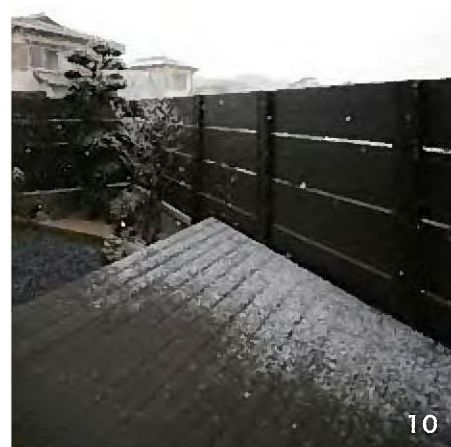
楽しい夢の住まいづくりと、Aちゃんの成長が1様と共に体験出来た事は、私にとって忘れ難い思い出となりました。ありがとうございました。



9



11



10

5. 坪庭を雪見障子越しに見る。坪庭の横の木は、1様の祖父が大切にされていたものを植えた
6. 無垢フローリングのリビング、畳コーナーで寛ぐ
7. 茶香炉と桜が飾られている違い棚
8. 和(なごみ)2階建ての外観
9. 旅行が好きな奥様が選んだ、和にも合う洋風家具。キッチン、子どもに火が身近にある暮らしをさせたいと、ガスを使用している
10. 季節に合わせて活用したいというウッドデッキ
11. 親世帯、子世帯の間に畑が。子どもが行き来しやすく、かつ道路には出難い工夫がされている



7

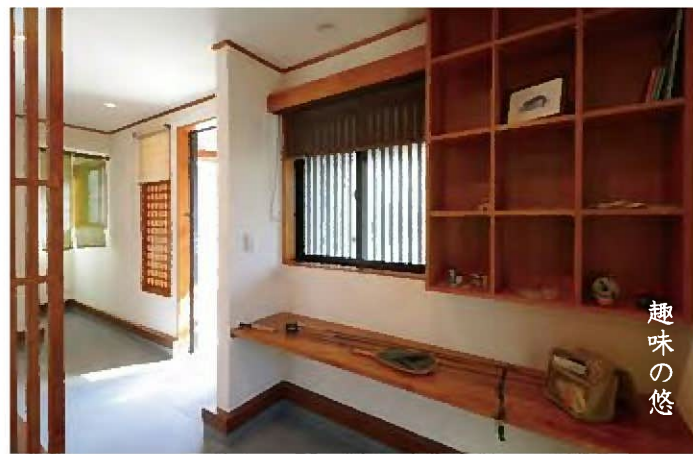


8



6

3つの「悠」を楽しむ



趣味の悠



癒し

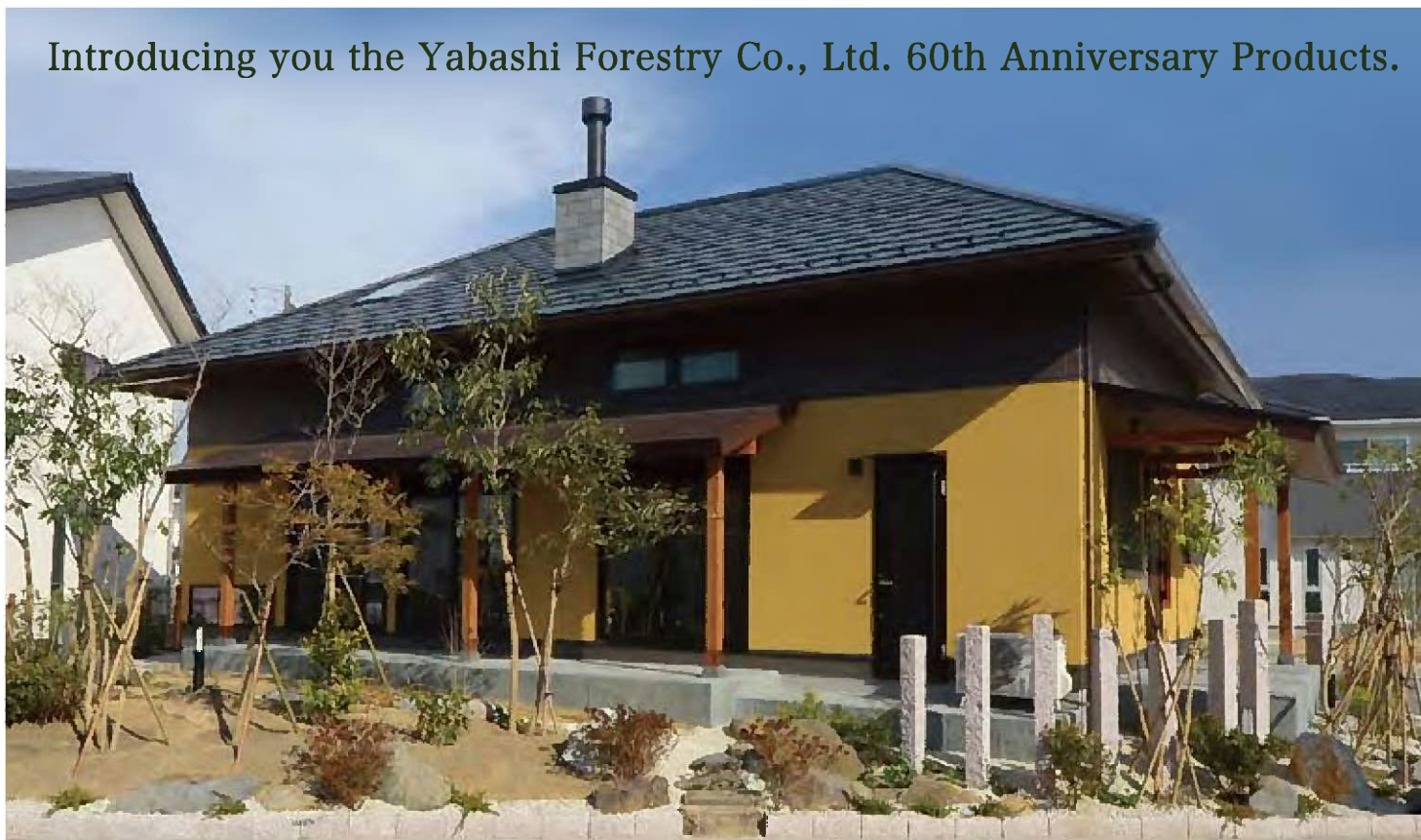
繋がり



空間の悠

GRAND OPENING OF A MODEL HOUSE !

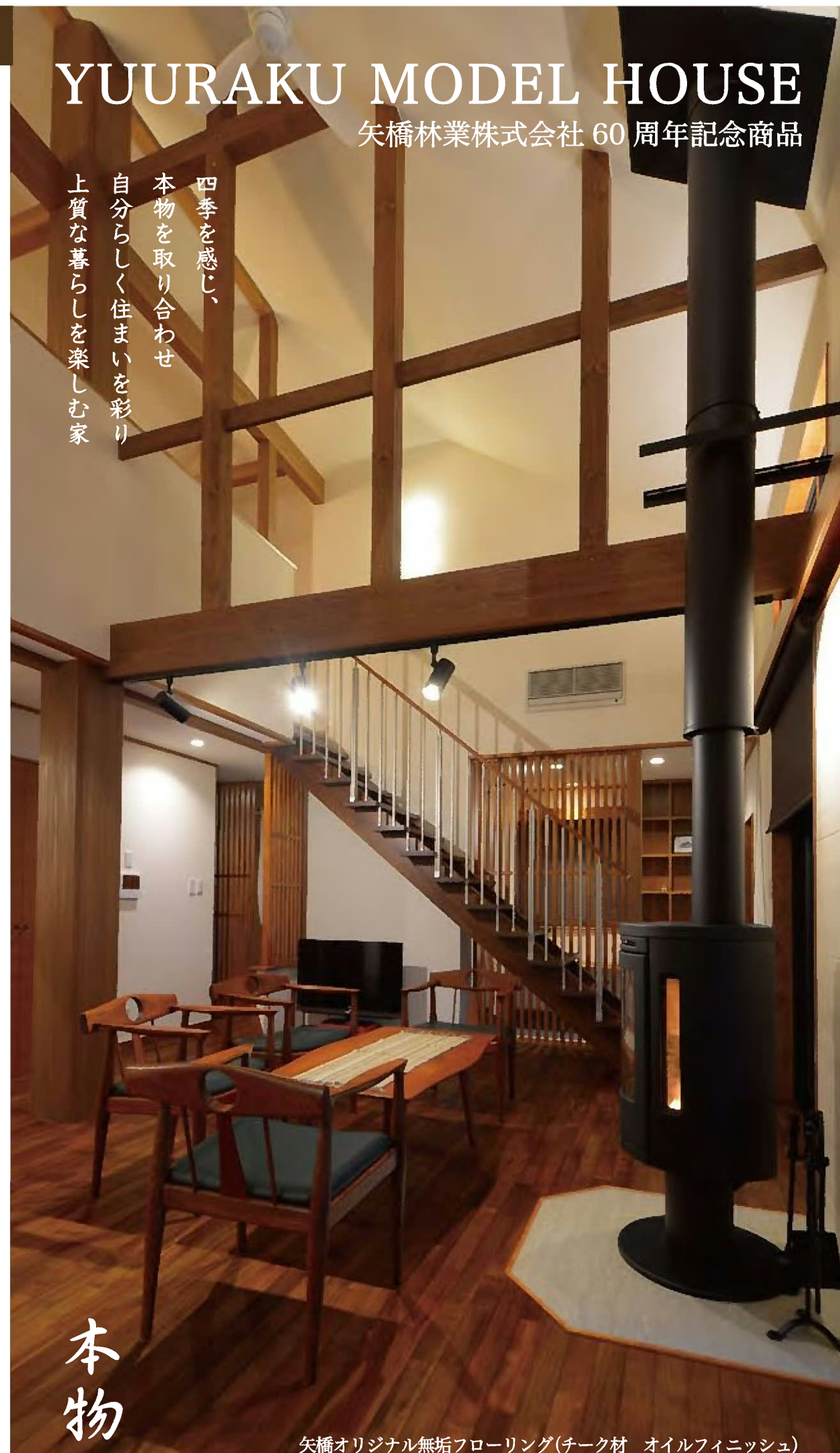
Introducing you the Yabashi Forestry Co., Ltd. 60th Anniversary Products.



YUURAKU MODEL HOUSE

矢橋林業株式会社 60 周年記念商品

四季を感じ、
本物を取り合わせ
自分らしく住まいを彩り
上質な暮らしを楽しむ家



本物

矢橋オリジナル無垢フローリング(チーク材 オイルフィニッシュ)

60TH ANNIVERSARY

悠楽
YUURAKU

温故知新

矢橋の家の理念

人が住むべき緑豊かな心休まる良い環境に、天然素材を活かした日本の伝統を受け継ぐ家に住もう。日本の原風景を取り戻し、日本人が育つ住環境をつくりたい。

矢橋の家のこだわり

安全	安心	本物	快適
家事	収納	子育て	趣味

チップを使って薫製を作ってみよう！

ダッチオーブンでつくる鳥モモ肉の薫製

やまさんのレシピ

④ 材料

- 鳥モモ肉：約250g
- 塩：小さじ2
- 黒胡椒：少々
- スパイス：タイム
ガラムマサラなどお好みで少々

●薫煙材（チップ）：ひとにぎり

薫煙材（チップ）には、ブナや桜、リンゴなどの実がなる木がよく使われるよ。これらの木の煙は目に入っても比較的刺激が少なく、食材をクセなく、香りよく調理できるからだろうね。



今回は桜を使用



④ 作り方

- ① 鳥モモ肉に下味を付ける。
塩とスパイスをすり込み半日ほど寝かせ、冷蔵庫などで冷やして水で流した後に乾燥させる。
※時間が無い時は、肉の水分をキッチンペーパーなどでふき取り、少量のスパイスをふりかけてもOK！
- ② ダッチオーブンの底にアルミホイルの上に乘せたチップを置く。
- ③ 加熱し煙が出てきたら網と肉を置き、蓋をして火力を少し弱める。
- ④ 30分程度いぶして、色づいたらできあがり！



『ダッチオーブン』て何？

鋳鉄製（鉄製）の蓋付鍋。蓋の上に炭を置くことで、上下から加熱できるため、オーブン料理ができる。その他、煮る、蒸す、焼く、揚げる、炒める、燻すなど様々な用途に使えるよ。「ダッチ」とは、「オランダの」という意味。開拓時代のアメリカでオランダ系移民が売り歩いたことから、この名称がついたと言われている。

薪ストーブ —— 家族が集う癒しの空間 ——

ゆらゆらと穏やかに揺れる炎を眺めていると心が癒されます。
少しテレビを消して、静かな時間を過ごしてみたいはいかがでしょう？

薪にはどんな木がいいの？

一般的にコナラ、クヌギ、シデのような広葉樹は、比重が高いため、火持ちが良く、ヤニも少ないので、薪としてよく使われます。一方、スギやマツのような針葉樹は、比重が低く、着火性が良いため、着火材として利用されることはありますが、火持ちが悪く、ヤニが出るため、注意が必要です。用途に合わせてうまく使い分けてください。薪は、割られることにより空気に触れる面積が広がるので早く乾燥します。十分に乾燥させてから使用してください。



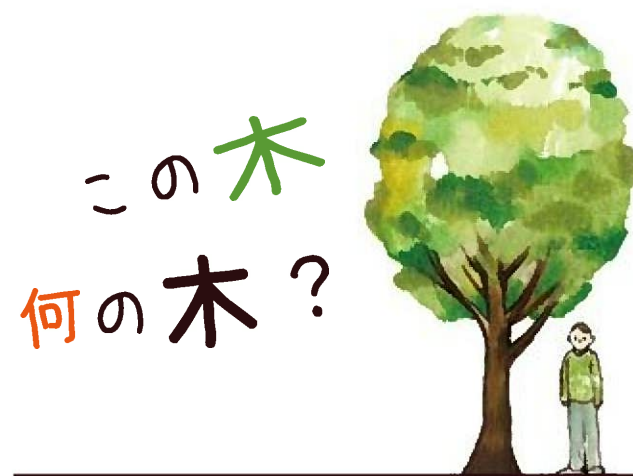
コナラ



クヌギ



シデ



この木
何の木？

かんたんな計測術で野外にあるものの高さを測るゲームがあります。

たとえば、背丈よりずーっと高い木立の高さを測る場合

割り付け式の計測法では、お友達に測りたい木の横に立ってもらい、離れた場所から、そのお友達と木を眺めて、木の高さがお友達の身長何倍なのか計算すると求めることができるよ。正確ではなくても、おおよその高さを知ることができるね。

高さの見当がついたら、名前も調べてみよう

木を見分けるのには葉の形や枝ぶり、花、果実などの特徴や樹皮の模様を参考にしよう。

ツルツルやザラザラの木肌を見て触りながら、この木の名前は何かだろうか、と辿っていくと野外での散歩も楽しくなるよ。



欂（ケヤキ）

樹皮がうろこ状にはがれる。名前は、樹形がきわだって目立つ木の意味を持つと言われてるよ。



樺（ブナ）

樹皮に地衣類が付着して模様を作っているんだよ。高地に行くときと見られるよ。



夏椿（ナツツバキ）

幹の表面がまだらにはがれて、薄茶色、橙色、肌色などが混ざり合った模様になるよ。



捩木（ネジキ）

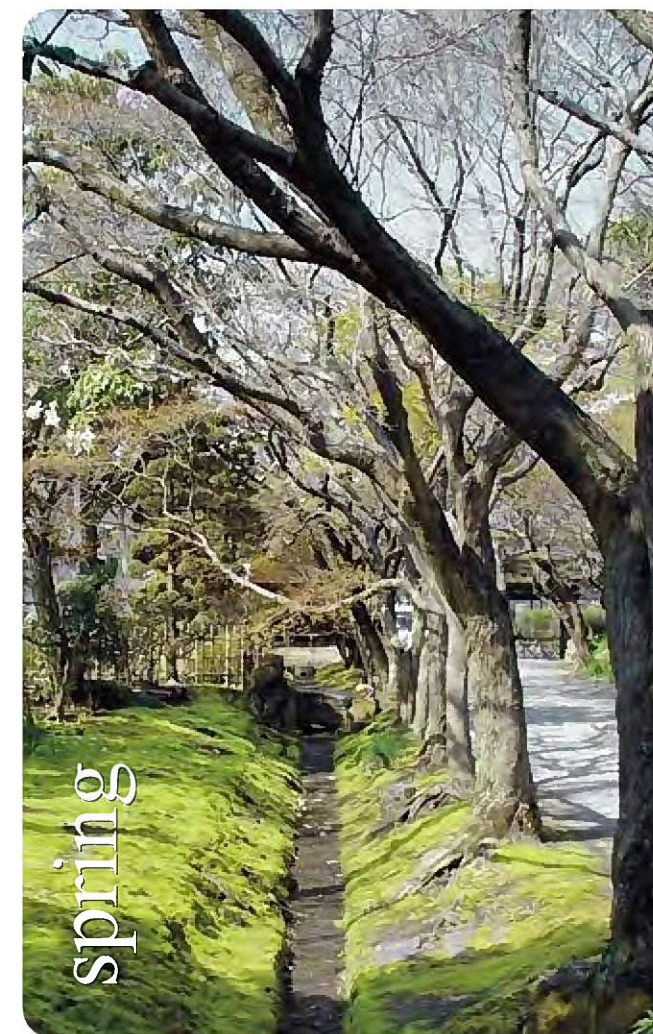
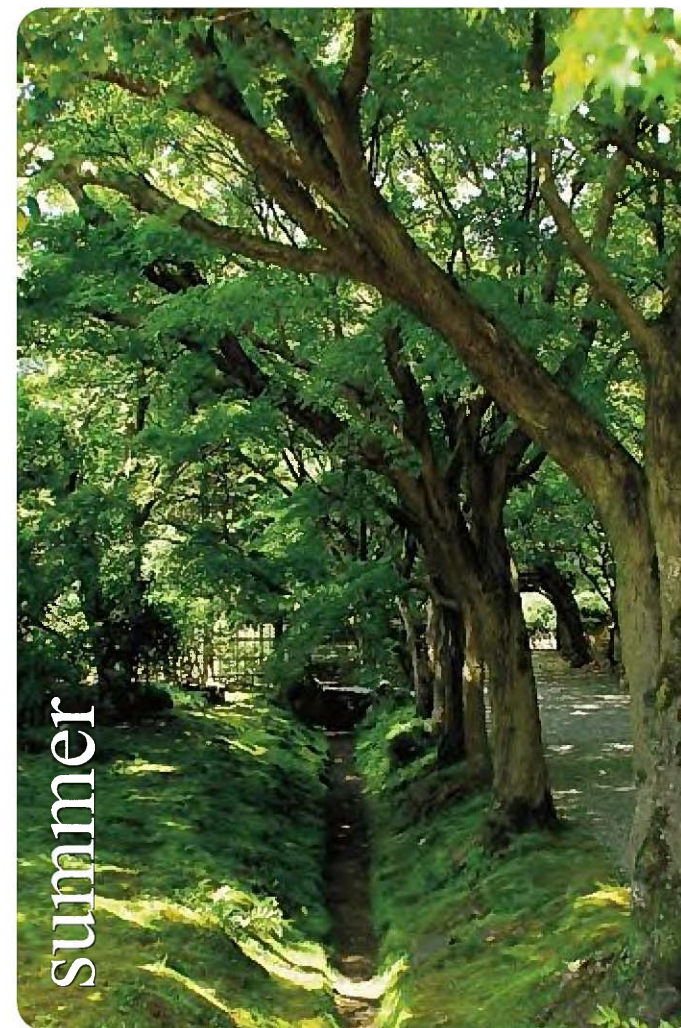
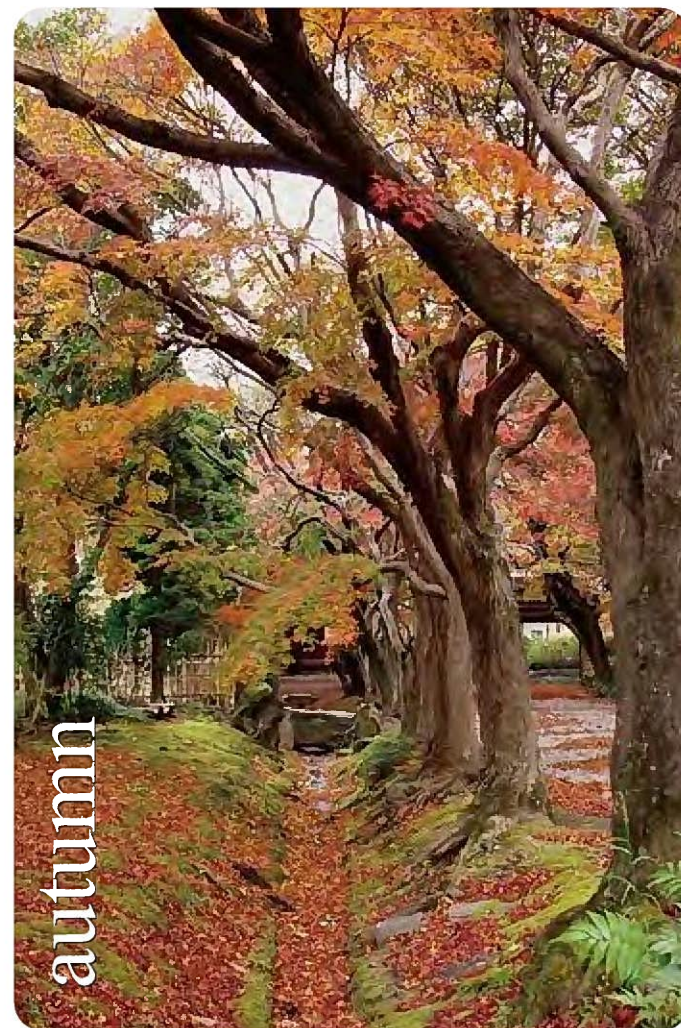
樹皮の筋が斜めにねじれている。初夏に咲く白い花がとってもきれいだよ。

Natural Life
—— 緑の中で自然に暮らす ——

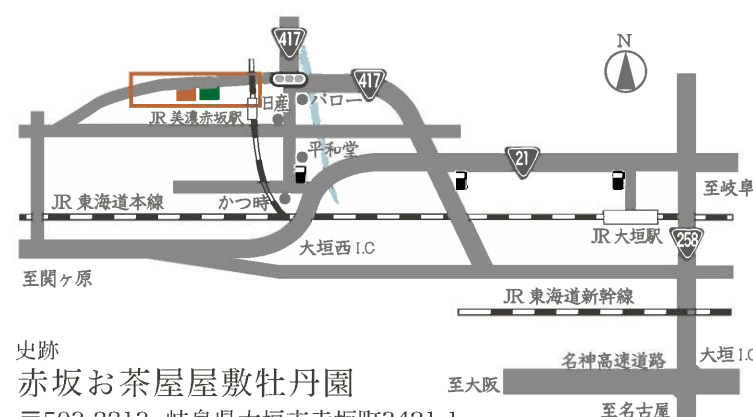
木にはいろんな用途があるよ。



PART-5



ご案内図

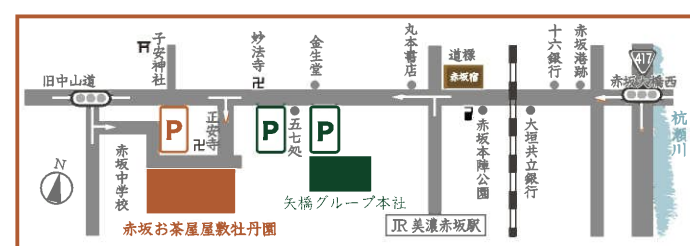


史跡
赤坂お茶屋屋敷牡丹園
〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町3421-1

矢橋グループ本社 問い合わせ先 TEL.0584-71-0820

史跡 赤坂お茶屋屋敷牡丹園

1604年、徳川家康は、織田信長が建てた岐阜城千畳敷御殿を赤坂に移築させました。開設当初は、総面積10,500坪の城郭の構えを持つ屋敷であり、中山道の休憩所として利用されていました。当園は、明治～昭和にかけて故矢橋龍吉翁が、史跡お茶屋屋敷内の花畑に、牡丹や種々の優雅な草木を丹精込めて栽培してきたものです。



牡丹の株数／約550～600本 見頃／4月～5月(寒牡丹12月～1月)
規模／10,573㎡(約3,200坪) ※見頃は目安であり天候等により異なります

史跡

赤坂お茶屋屋敷牡丹園

当園には、春に見頃を迎える牡丹だけではなく様々な木々や花があり新緑や、紅葉、冬に咲く寒牡丹など一年を通して自然の美しさを感じられます。

門は、一年中開け放しです。心おきなくご来園いただき、四季の移ろいを感じてください。

うみゆり連載集

中山道赤坂つれづれの記

化石のメッカ(二)

故清水 春一

脇水鉄五郎博士の研究になる金生山(赤坂山)は、地質時代区分によればごく新しい時代に属します。この山の石灰岩ができたのは古生代のペルム紀(二畳紀)から石炭紀といえますから、今から二億二千万年から三億五千万年も以前で、全く気の遠くなるような大昔というわけです。人間の発生が僅かに百万年くらいにしかならないのに比べて、ほんとうにびつくりするほどの古さです。

この山ができた状態は、地熱のエネルギーによって地殻(地球の表皮)の変動が生ずる、つまり地球内部のエネルギー爆発によって起こる火山活動と、火山にはならなかったが、その素晴らしく大きな造山力によってできた地球の表面のコブが、いうところの山である、となるわけです。

金生山の場合は、学者の説によつていろいろあるようですが、相当長い年数を重ねて海底に沈積した石灰層が、地殻運動の作用で隆起してできたものであり、それ故に全山が石灰岩で成り立っている、といわれます。海の底が隆起したコブ(山)だから、その後、久しい年代を経た現在、この山の石灰岩の中から発見される化石は、すべて海の動物ばかりである、ということです。

何億年もの大昔、日本列島が創成される

ころに海に生息していた動物(貝類など)が、山の中に眠っているうちに、長い時間を経過し、今、化石となつて山の上から出てくるというわけです。大自然の営みとはいえ、誠に不思議な力といわねばならないでしょう。だからこそ地球の歴史を解明するため、地殻の変遷を研究するのに最も重要なものはこうした化石研究であり、それによつて、地質学、古生物学、鉱物学が成り立っているわけです。

金生山の化石は、その意味で非常に重要視され、専門学界では世界的なメッカとして注目される場所であり、またその研究は人類社会の発展に大きく貢献してきました。今後とも継続され、振興されていくことが大きく期待されるわけです。

日本化石学の発祥地

わが国における化石研究は比較的に新しく、まだ百年余にしかならないということです。きつかけは一八七三年だと思いますが、ウィーン万博に出品されていた金生山の大理石に付着していた化石を調べたギュンベル博

士が最初であり、それ以後大いに発展してきたということですから、赤坂金生山こそ、日本化石学発祥の地であります。

そのような存在である金生山は、地球表面に露出している部分だけでも海拔二百七メートル、東西およそ二キロ、南北およそ二二キロあります。それとほぼ同量が地下に埋もれている、といわれ、石灰岩埋蔵量は推定約四億トンといわれてきましたが、恐らく実際には、それ以上の量であろうと思われま

す。ところが、話をもとに戻しますと、東大の浜田教授のお話のように、地球の歴史の中で二億年前のことといえば、恰度金生山のできたころ、或いはその少しあとというわけです。つまり日本列島の創成期に、地球の赤道線が現在と異なつた位置で、北極圏が日本列島

辺りに位置していたとなると、金生山の研究が大変重要なポイントになる、と前述しました。このことについて、素人故の盲蛇に怖じず式、否それ以上の暴言であることは自認しながらも敢えて申し上げます。浜田先生のお説を曲解しての誤ちと、笑殺していただいて大方諸彦のお許しを頂戴できれば幸いです。

そこで金生山は全山石灰岩、といわれた脇水説です。実は矢橋工業と三星磁業両社提携で進められている石灰生産業の作業現場で、かつて堅坑と横坑をつなぐ掘鑿工事(採掘場施設の建設)のとき、石灰岩層のうちに火山層の異質な岩層の含まれている部分が確認されました。これは脇水説にとつて全く重要な意味をもっているのです。

石灰層など寒帯に属する部分と化石や石灰岩層に含まれる暖帯に属する質のものとが、金生山に同居(混在)しているということは、浜田先生の話によれば、脇水説を肯定もし、また否定もすることになる矛盾した両面性をもっているわけです。そのために、金生山の地質の徹底的な学術研究をすることの重要性が提起されてよいのではなからうか、と愚考するわけです。

ともあれ、青少年たちに金生山中に眠っている学問の謎を解き明かすことを期待します。金生山麓に住む人々の中から、せめて、人でも有能有為の人材が輩出することを念願してやみません。それは将来の全世界における人類生存の発展につながる重要な事柄だからと信ずるからです。